

第3学年国語科学習指導案

日時 平成28年9月30日(金)

児童 男9名 女7名 計16名

指導者 板垣 碧

- 1 単元名 場面のうつりかわりをとらえて、感想をまとめよう (光村3年下)
教材名 「ちいちゃんのかげおくり」あまん きみこ 作 上野 紀子 絵

2 単元で付けたい力

3・4年生の「読むこと」の目標は、「目的に応じ、内容の中心をとらえたり段落相互の関係を考えたりしながら読む能力を身に付けさせるとともに、幅広く読書しようとする態度を育てる。」である。また、指導事項に、「ウ 場面の移り変わりに注意しながら、登場人物の性格や気持ちの変化、情景などについて、叙述を基に想像して読むこと。」「オ 文章を読んで考えたことを発表し合い、一人一人の感じ方の違いのあることに気付くこと。」があげられている。

これを受けて、本単元では、児童に身に付けさせたい力を次のように考えた。

- | |
|----------------------------|
| ○場面の移り変わりに注意して叙述を基に想像して読む力 |
| ○感想を交流し、自分の感じ方と比べて意見を伝え合う力 |

3 単元の指導にあたって

児童は、2年下「わたしはおねえさん」で、物語を読んで自分と比べながら感想を書く学習をしてきている。また、3年上「もうすぐ雨に」では、組み立てに基づいて人物の言動や気持ちに着目して読む学習をしてきた。これらの学習から、場面の様子を想像し、人物の性格や気持ちの変化を読み取る力がついてきた。しかし、場面の移り変わりを捉えて読む力は十分とは言えず、心に残った部分について、根拠を明確に持てないまま叙述を長々と書き抜いてしまう実態がある。感想を交流する際は、友達の考えを共感的に聞くことができるようになってきているところである。

本単元は、「場面の移り変わりに注意して叙述を基に想像して読む力」「感想を交流し、自分の感じ方と比べて意見を伝え合う力」を付けるために、物語を読み感想を書く言語活動を設定した。教材文「ちいちゃんのかげおくり」は、一行空きで場面が分けられており、移り変わりが捉えやすい構成となっている。また、家族という身近な存在が描かれているため、それぞれの場面で描かれる出来事、情景に心を動かす児童は多いだろう。場面の移り変わりに注意して読み、文を引用したりまとめたりしながら感想を書くのにふさわしい教材である。

指導に当たっては、身に付けたい力を付けるために、「心にぐんとひびいたカードに感想をまとめよう。」という学習課題を設定し、単元を通して指導していく。その際には、次の3つに留意し指導を進めたい。

1つ目は、感想をカードにまとめるために教材文を読むという目的をもたせ、感想カードのモデルを示すことである。その際、心に残った場面や言葉について叙述を基に書き表す感想の書き方に触れさせたい。

2つ目は、場面を比べて読むことや場面の役割を考えて読むこと、人物の行動や会話から気持ちを想像しながら読むことである。細かい点に注意して読み、文を引用して感想を書く力を高めていきたい。

3つ目は、戦争をテーマにした本の並行読書をし、児童の読書の幅を広げることである。その際、心に響いた部分に付箋を付けながら読むように指導したい。

【言語活動の工夫・改善】

- (1) 場面の移り変わりに注意して叙述を基に想像して読む力を付けるために
- ① 場面同士を比べたり，場面の役割について考えたりしながら読ませる。
 - ② 会話や行動を表す言葉から，登場人物の気持ちを想像させる。
- (2) 感想を交流し，自分の感じ方と比べて意見を伝え合う力を付けるために
- ① 相手の意見を聞き，自分の感じ方と比べた意見を伝え合う場を設定する。
 - ② 交流形態を工夫し，考えに自信がもてない児童も抵抗なく話すことができるようにする。

【振り返る活動】

- ① 単位時間ごとに，学習したことについて自己評価するとともに，教師が学びの価値付けを行う。
- ② 単元の終末に，「場面の移り変わりをとらえるために何に注意して読んだか」や「感想を書く時にどんなことに気を付けたか」を振り返る。

4 単元指導計画（10時間）

単 元 目 標	<p>◎場面の移り変わりに着目して読み，進んで感想を書こうとしている。【関】</p> <p>◎場面の移り変わりに注意しながら読み，人物の行動，情景，会話などの表現に着目して読むことができる。【読】</p> <p>○友達との感想の内容を比較し，意見を伝え合ったりして，一人一人の感じ方の違いに気付くことができる。【読】</p> <p>・細かい点に注意しながら読み，場面をまとめたり，文を引用したりして感想を書くことができる。【読】</p>		
	評 価 規 準	<p>関心・意欲・態度</p> <p>・場面の移り変わりに着目して読み，進んで感想を書こうとしている。</p>	<p>読む能力</p> <p>・場面の移り変わりに注目し，それぞれの場面の様子を想像しながら読んでいる。(1) ウ</p> <p>・本文を引用したりまとめたりして，文章の叙述に基づき，感想文を書いている。(1) エ</p> <p>・感想を交流する中で，一人一人の感じ方の違いに気付いている。(1) オ</p>

【学習計画】(全 10 時間)

次	時	学習内容	○指導上の留意点 ◆言語活動の工夫・改善	評価規準
1	1	○学習課題を設定し，学習計画を立てる。 ・戦争について知っていることを話し合う。 ・「かわいそうなぞう」の読み聞かせを聞き，感想カードのイメージをもつ。	○戦争をテーマにした本に触れ，戦争に対する関心を高める。 ○心にひびいたカードのモデルを示し，感想をカードにまとめるために教材文を読んでいくという目的をもたせる。 ○並行読書を始める。	○感想の書き方を知り，学習のゴールのイメージをつかんでいる。(発言，ノート)【関】
		心にぐんとひびいたカードに感想をまとめよう。		
	2	○「ちいちゃんのかげおくり」を読んで，初発の感想をもつ。 ・登場人物や起こった出来事を確認する。 ・5つの場面に小見出しを付ける。	○5つの場面に分かれることを確認する。	○登場人物と場面に基づいて，物語のあらすじを理解している。(発言，ノート)【読】
2	3	○第1と第4の場面のかげおくりを比べて話し合う。	◆4人グループで，2つのかげおくりの違いを確認し，それぞれのかげおくりの名前を付けさせる。	○2つの「かげおくり」を比べ，その違いを読み取っている。(ノート)【読】
	4	○第1と第2の場面のちいちゃんの状況や心情を読む。 ・ちいちゃんが失ったものを考える。 ・心にぐんと響いた場面や文と感じたこと，そう感じた理由をまとめる。	◆4人グループで感想を交流し，自分の感じ方と比べた意見を伝え合う場を設定する。	○出来事に即して，登場人物の心情を想像している。(ノート)【読】
	5	○第3と第4のちいちゃんの状況や心情を読む。 ・ちいちゃんが失ったものを考える。 ・心にぐんと響いた場面や文と感じたこと，そう感じた理由をまとめる。	◆4人グループで感想を交流し，自分の感じ方と比べた意見を伝え合う場を設定する。	○出来事に即して，登場人物の心情を想像している。(ノート)【読】

	6	○第5場面を読んで、場面の役割について話し合う。 ・第5場面と第4場面にある「きらきらわらう」の違いを考える。	◆グループで、2つの「きらきらわらう」はどう違うか考えを交流する。	○2つの「きらきらわらう」の違いを比べ、理由とともに自分の意見を発表している。(ノート)【読】
	7	○「ちいちゃんのかげおくり」を読んで、心にぐんと響いたところをカードにまとめる。	○場面全体を短くまとめたり、文を書き抜いたりして、感想の根拠を明確にさせる。	○本文を引用したりまとめたりして、自分の感想の中心を理由とともにまとめている。(カード)【読】
	8 (本時)	○心にぐんとひびいたところを交流する。	◆選んだ場面や言葉が同じ人同士、違う人同士で交流する。	○友達との感想の違いに気付いている。(ノート, 発言)【読】
3	9	○自分の選んだ本の心にぐんとひびいたところをカードにまとめる。	○場面全体を短くまとめたり、文を書き抜いたりして、感想の根拠を明確にさせる。	○本文を引用したりまとめたりして、自分の感想の中心を理由と共にまとめている。(カード)
	10	○感想を交流して、単元のふりかえりをする。	◆同じ本を選んだグループや違う本を選んだ人同士でグループを組ませる。 ○教科書P24の「たいせつ」を用いながら、単元で学習してきたことを振り返らせる。	○友達との感想の違いに気付いている。 ○これまでの学習を通して、学んだこと、気付いたことをノートに書きまとめている。(ノート)【読】

5 本時の指導

(1) 目標

「ちいちゃんのかげおくり」を読んで、心にぐんと響いたところを中心に感じたこととその理由を交流し、一人一人の感じ方の違いに気付くことができる。

(2) 展開

	学習活動・学習内容	・指導上の留意点 ◆言語活動の充実を図る工夫・改善
導入 5	1 前時までの学習を想起する。 2 学習課題を確認する。 心にぐんとひびいたところを交流しよう。 3 課題解決の見通しをもつ。	<ul style="list-style-type: none"> それぞれの心に響いた言葉や場面を全文シートに位置づけ、選んだ言葉や場面が物語のどこにあるのか視覚的に捉えられるようにする。 学習の流れを示し、交流する時は友達の考えと自分の考えの似ているところや、違うところ、友達の考えのよいところなどに気を付けることを確認する。
展開 35	4 課題を解決する。 (1) 2人組で交流をする。 (2) 2人組で交流したことを全体で確認する。 (3) 4人組で交流をする。 (4) 交流をして、感じたことや考えたことを書きまとめる。 (5) 発表し合う。	<ul style="list-style-type: none"> ◆2人組は、できるだけ同じところを選んだ人同士で組ませる。 ◆4人組は、できるだけ違うところを選んだ人同士で組ませる。 ◆交流後の感想をまとめる際は、交流をしてより強く感じたことや、友達の考えを聞いて新たに感じたことを中心にまとめる。 交流を通して一人一人の感じ方の違いに気付くことができたことを価値付け、自己評価につなげる。
終末 5	5 学習を振り返る。 ・振り返りカードに自分自身の交流の取り組み方について振り返りを書く。 ・発表する。 6 次時の学習を知る。	<ul style="list-style-type: none"> 交流をした時に、特に自分が気を付けたことや努力した点を書けるようにする。 次時は、自分が選んだ本の心にぐんと響いたところとその理由をまとめていくことを確認し、意欲と見通しを持たせる。

(3) 評価

「ちいちゃんのかげおくり」を読んで、心にぐんと響いたところを中心に感じたこととその理由を交流し、一人一人の感じ方の違いに気付いている。

6 板書計画

ちいちゃんのかげおくり

あまん きみこ

心にぐんとひびいたところを交流しよう。

全文シート

○二人組で交流する。

○四人組で交流する。

○交流をして感じたことや考えたこと

・ふりかえり